平成３１年度事業報告書

法人の名称　特定非営利活動法人　なないろ

１、事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

①親子のための育児支援施設の運営に関する事業

ア　保育施設の運営事業

・内容　　保育施設の運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻 862 番地 13
・従業員数　常勤　３人（児童クラブ事業と兼務）
　　非常勤６人（内３人は児童クラブ事業と兼務）
　　補助スタッフ６人（児童クラブ事業と兼務）
・対象者　　保育を必要とする乳幼児 32 人
・支出額　　12,529,961 円（前年度 13,271,575 円）

イ　児童クラブ施設の運営事業

・内容　　児童クラブの運営
・日時　　通年
・場所　　神奈川県相模原市南区当麻 862 番地 13
・従業員数　常勤３人（保育施設事業と兼務）
　　非常勤６人（内３人は保育施設事業と兼務）
　　補助スタッフ８人（内６人は保育施設事業と兼務）
・対象者　　児童クラブを必要とする小学生 43 人
・支出額　　13,216,283 円（前年度 11,174,816 円）

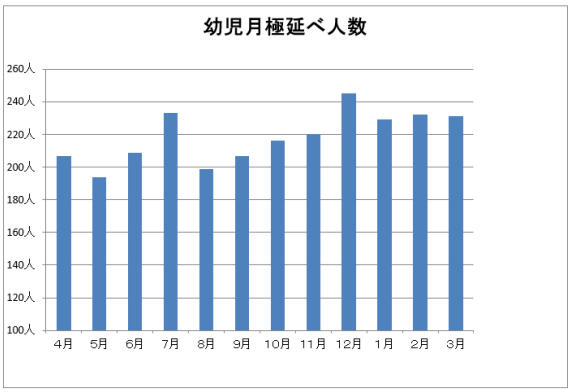
２、総括

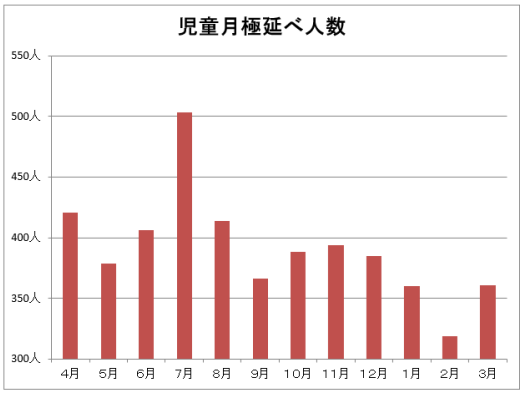
＊開園して 10 年目となる３１年度。利用者も保育・児童クラブ部門共に、ほぼ定員を満たし、経営は安定してきた。
昨年度の目標でもある＜補助スタッフの増員＞も、昨年度は３名だった補助スタッフが、今年度は８名と大幅に増員はできたが、夏休み等の長期休暇中のみが５名。年間通して長く続けてもらえる方は３名の追加にとどまる。最低５名は、声を掛けた時すぐに勤務に入れるスタッフが待機していると、常勤・非常勤のスタッフが安心して休める職場になるのではないか。

＊児童クラブ部門の支出が増えたのは、コロナにより３月２日から小学校が休校となったことに伴い、児童クラブを朝から開所し人件費が大幅に増えたことに起因する。コロナ関連で増加した人件費及び消耗品費は行政からの補助金で負担できたが、来期以降も登園自粛が続くとなると、収入が大幅に減少し、経営的に厳しくなるのではないかと推測される。

３、利用者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児月極人数	12	12	12	14	14	14	14	14	14	14	15	15	
幼児月極延べ人数	207	194	209	233	199	207	216	220	245	229	232	231	2622
幼児一時延べ人数	23	32	41	42	33	23	24	17	19	19	14	28	315
幼児18時以降の延長利用延べ人数	20	16	21	21	15	18	19	21	21	22	18	16	228
幼児19時以降の延長利用延べ人数	5	5	4	3	5	11	9	2	3	2	1	2	52
児童月極人数	39	40	39	39	37	35	35	36	36	35	35	32	
児童月極延べ人数	421	379	406	503	414	366	388	394	385	360	319	361	4696
児童一時延べ人数	11	2	5	17	15	19	17	22	24	25	24	21	202
児童18時以降の延長利用延べ人数	67	65	63	93	76	64	91	76	66	52	45	54	812
児童19時以降の延長利用延べ人数	17	21	20	28	42	24	11	20	19	8	14	11	235





＊幼児は年間通して平均的な利用数だが、児童は夏休みを一人で留守番させることが心配で、夏休みまで利用し退会する家庭が多いため、夏以降は徐々に減る傾向にある。

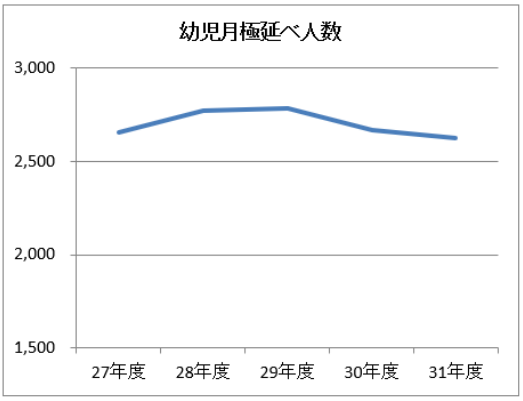
＊幼児の 18 時以降の利用は、ほぼ同園児のため、次年度は 18 時以降の利用は極端に減るのではないかと予想される。

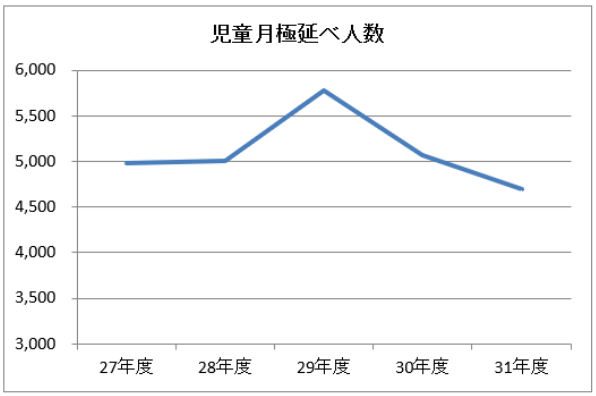
子どもが小学生になると、保護者も時短がなくなる事や、仕事を優先させる傾向にあり、小学生の時間外の利用は増えるのではないか。常勤スタッフの長時間勤務を減らすためにも、19 時以降のスタッフ配置やスタッフ確保は今後の課題。

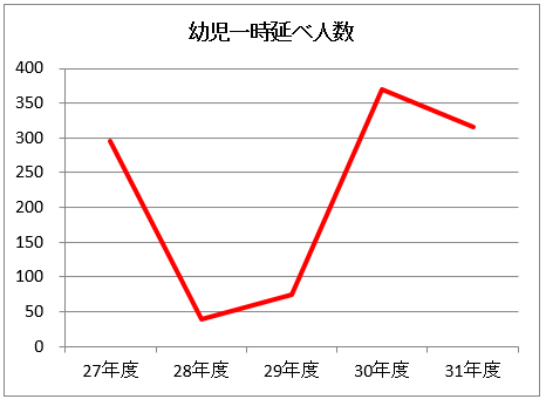
また、帰宅が毎日遅くなる子どもの、心と生活面での支援も必要だと感じるが、どこまで踏み込んだらよいのか悩むところである。

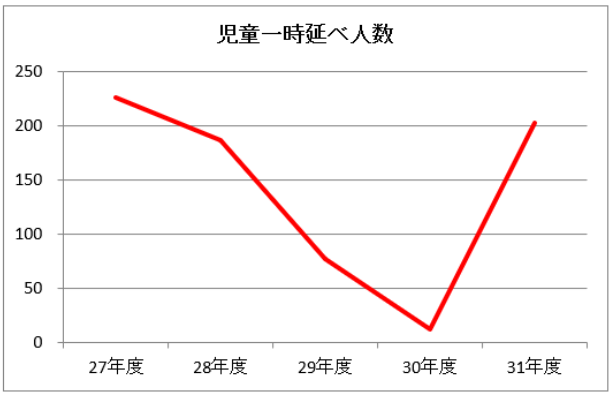
過去５年間の利用者推移

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼児月極延べ人数	2,656	2,770	2,784	2,666	2,622
幼児一時延べ人数	296	40	74	370	315
児童月極延べ人数	4,983	5,008	5,780	5,063	4,696
児童一時延べ人数	226	187	77	12	202









＊児童月極延べ人数の減少誘因は、昨年８月より週２利用を設定したことにより、昨年同様必要最低限の利用回数に留める家庭が増えたことにあるのではないか。

＊児童の一時利用が増えたのは、昨年まで幼児だったスタッフの子どもが児童に上がったことによる。真の児童一時利用者は１名のみだった。

急な休校等で公立の児童クラブは閉所になってしまうが、なないろは利用できることを周知し、急に仕事を休むことができない保護者の支援をしていけたらよいのではないか。

幼児一時利用は、スタッフの子どもが抜けたが、定期的に利用してくださる方がいた為極端に減ることはなかった。

定期的な一時利用者が月極へ移行するという、良い流れもできた。

４、事業報告

赤字　保育・児童クラブ合同

<table>
<tr><th>月</th><th>保育部門</th><th>児童クラブ部門</th></tr>
<tr><td rowspan="2">４月</td><td>**９日　健康診断**
15 日　新入児歓迎会
今年度の
入園・進級
プレゼント

15 日　避難訓練（火災）
避難訓練の意味・必要性を知る。
集まって！の声掛けに、数名以外反応し、静かに集まることができた。</td><td>**４日　園外保育（親水公園）**
＜詳細別途記載＞
15 日　新入児歓迎会
 </td></tr>
<tr><td colspan="2">**園外保育　親水公園**
小川の水は冷たかったが、ほとんどの子が裸足で水に入り楽しむ。女子は「風で飛んできた桜の花びらを左手で掴むと幸せになれるよー」と言うと、キャーキャー言いながら、夢中で花びらを追い楽しんでいた。
 </td></tr>
<tr><td>５月</td><td>**14 日　健康診断**
14 日　避難訓練（火災・防犯）
・園内からの避難の方法を知る。
火事についての話をすると、だいぶ真剣に聞けるようになってきた。
靴を履くのに時間が掛かるが、移動はスムーズだった。
・不審者が侵入してきた場合の合言葉を知る。</td><td>**15 日　防犯訓練**
防犯時の合言葉や、室内での避難の方法を話し合う。
27 日　園外保育（麻溝公園）
 </td></tr>
</table>

6 月	**11 日　健康診断** **19 日　避難訓練** 自分の頭を守ることを伝えると、話をしっかり聞いて、真剣な表情で取り組んでいた。「だんご虫になるよ」も、親近感があって、園児もわかりやすかったのではないか。	**24 日　ホットケーキ作り** 色々な中身を入れ、たこ焼き器を使い丸いホットケーキを作る。中身にワクワクしながら良く食べていた。
7 月	**9 日　健康診断** **18 日　避難訓練** 火事だ！の合図で動き出すと、園児もスタッフの誘導で一か所に集まり、静かに行動できた。 **19 日　夕涼み会＜詳細別途記載＞** **水遊び** 	**6 日　保護者会** **19 日　夕涼み会＜詳細別途記載＞** **24 日　うちわ製作** 初めての子も興味を示し、手形・にじみ文字を楽しんだ。 **30 日　実験（メントスサイダー）** 家ではなかなか行うことのできない実験をした。 想像以上にサイダーが吹き上がり、歓喜の声を上げていた。 その後フルーツポンチにして、美味しくいただいた。 **31 日　塗りたくり** **水遊び**

夕涼み会

目的：保護者同士の親睦を深める
　　地域の方々と交流しながら季節の行事を楽しむ。
日時：2019 年 7 月 19 日（金）　17 時～19 時
場所：なないろキッズルーム園庭
内容：わくわく音楽隊による出し物
　　模擬店　かき氷（50 円）・ジュース（100 円）・コロッケ（50 円）
　　ポップコーン（50 円）・焼きそば（200 円）・
　　その他　ヨーヨー（50 円）・ピンボール・缶バッチ（20 円）・ビンゴ
　　工作コーナー・クイズラリー

所感：・昨年まで園庭で行っていた出し物を 2 階で行ったため、外部の方が上がって行きにくそうだった。
・書道教室と重なると駐車場等不都合が出てくるので、開催時期の検討は必要。
・卒園児や現園児の誘いで来る子が多かった。地域の方も多く、口コミや看板の効果があったのではないか。また、今回は外部の店舗等が模擬店で参加してくださり、それぞれの出店者が SNS 等で発信してくれたため、来場者が多くなったのではないか。
・なないろを良く知らない方も来場してくれたので、なないろのパンフレット等を置くべきだった。
・天候が微妙で、当日変更した点が多く、それを全てのスタッフに知らせるのが難しかった。流れの確認・伝達は今後の課題。

8 月

2 日　流しそうめん

2，3 歳児のみ外で流しそうめんを行う。とても上手にフォークで取り食べていた。1 歳児は室内の流しそうめん器で行う。

2 日　流しそうめん

低学年と高学年で分かれて行うと、待つ時間も少なく、スムーズに食べられた。

8 日　健康診断

23 日　避難訓練

事前に知らせずサイレンを鳴らしたが、泣くこともなく落ち着いて行動できた。

23 日　お楽しみ給食

9, 10 日　お泊り会＜詳細別途記載＞

23 日　避難訓練

23 日　お楽しみ給食

お泊り会

目的：親から離れて生活をすることで自立心を育てる

２日間スタッフや友達と行動することにより絆を深める

日時：2019 年 8 月 9～10 日

場所：相模川ビレッジ若あゆ

内容：参加者　児童 24 名・スタッフ 8 名

＜1 日目＞

8:45　集合

9:00　入村式

9:20　オリエンテーション

9:50　自然の村公園で水遊び

12:00　昼食

13:00　スポーツ吹き矢

15:00　楽焼

16:00　自由時間

17:00　夕食

18:25　入浴

19:30　スターウォッチング

20:30　就寝準備・自由時間

22:00　就寝

＜2 日目＞

6:30　起床・ラジオ体操

7:30　朝食

8:30　退村準備

9:10　反省会・ゲーム大会

10:00　退村式

10:30　解散

	所感：・保護者に送迎を協力していただくことで、一体感があったように思える。 ・今年は例年反省会で書く絵日記をなくし、ゲーム大会にした。とても盛り上がり、最後に楽しかった思い出で終わることができ良かったが、後日作る壁新聞のために、しおりののメモ欄に楽しかったこと、印象に残ったことくらいは書く時間を作るべきだった。 ・飲み物をペットボトルにしたのは、衛生的にはよかったが、活動中に水を入れに行く子が目立ったので、次の活動に移動する前に確認すればよかった。また、投げたり転がしたりしていた子がいたので、紐付きのペットボトルホルダー等あればよかった。 ・毎年感じるが、お泊り会後は子ども同士の連帯感も強くなり、スタッフとの距離も縮まる。	
9 月	**10 日　健康診断** **17 日　避難訓練**	**30 日　園外保育（芹沢公園）** **＜詳細別途記載＞**
	園外保育（芹沢公園） 代休のため芹沢公園へ行く女子 4 名だったので、遊具で遊んだり、ゴロゴロしたり、公園探検等楽しく遊んでいた。 午後はスライム作りを楽しむ 	
10 月	**8 日　健康診断** **16 日　避難訓練** 「火事だよ」「〇〇だよ（防犯の合言葉）」と、キーワードになる言葉をしっかり伝えてから行うと、混乱もなく取り組むことができた。 防犯の合言葉はしっかりと覚えてもらいたい。 **31 日　ハロウィン＜詳細別途記載＞**	**31 日　ハロウィン＜詳細別途記載＞**

ハロウィン

目的：行事を通して地域交流を楽しむ

日時：2019 年 10 月 31 日　幼児　10:00～11:15　学童　15:00～17:00

場所：なないろキッズルーム近隣施設等

内容：(幼児)

タイヨー相模原→タキオン→けやきデイサービスと回る。

タイヨーとタキオンでは、お菓子のお礼に「どんぐりころころ」を歌う。けやきではお菓子のお礼に「パプリカ」の歌と踊りを披露。

帰園後

園児の父親による

マジックショーを見る

(児童)

5 時間で下校してきた子達と、原当麻骨盤背骨整骨院へ。

全員下校後けやきデイサービスへ行く。けやきではお菓子のお礼に「パプリカ」の歌とダンスを披露。

所感（幼児）

・天候にも恵まれ、早め早めに行動することができ、スムーズに活動を行えた。途中近所の方にもお菓子を頂けたりと、地域交流の目的は十分達成できたと思う。子ども達は例年より人見知りも少なく、歌と踊りも上手に披露でき、デイサービスのお年寄りにも喜んでいただけた。

（児童）

・何だかんだ言っても、やる事はしっかりとやってくれた。
デイサービスでのパプリカダンスは、お年寄りに可愛いと褒めてもらい、アンコールでは３年男児がピコ太郎のＰＰＡＰを一人で踊ってくれた。
例年のようにお年寄りが知っている曲を歌うのではなく、子ども達が楽しく元気よく歌ったり踊ったりする姿を見せるのもよいのではないかと感じた。

11 月

12 日　健康診断

14 日　避難訓練

今回は説明を詳しくしてから訓練を始めた。少人数で落ち着いていたこともあり、静かによく聞いて行動できていた。

11 日　ストームグラス作り

12 日　防災訓練＜詳細別途記載＞

防災訓練

目的：なないろで地震災害が起きた時の備え、心構え、過ごし方を知る

日時：2019 年 11 月 12 日（火）16:30～17:30

場所：なないろキッズルーム 2 階

内容：参加者　学童 19 名

・地震発生　避難経路を確保し、
地震が落ち着いたら園庭に避難

・2 階に戻り地震の時の注意事項等の確認

・３．１１の時の話しから、電気・ガス・水道が止まったらどうなるか考えてもらう。

・トイレの話。トイレが使えなくなったら？いろいろ意見を出し合いトイレ作りをする。バケツにビニール袋をかぶせ、新聞紙・ペットシーツ・ティッシュ等を入れ、何が一番水分を吸収するか実験する。

・電気を消して停電になった時を体験

・非常食の試食

・寒くなってきたらどうするか。

	所感：・子どもも興味津々で、次から次へと意見が出た。トイレの実験や非常食の試食など、ポイントはよかった。後はしっかり家庭で話してもらいたい。 ・トイレを作った後、ビニールに何を入れたら良く吸ってくれるだろうと、ペットシーツを入れてみたり、新聞紙を折ったり、切ったり、ちぎったり、色々試して、実際にやってみないと分からないことが多く、スタッフも勉強になった。 ・訓練なので子どもも遊び半分のところがあったが、全体的には良かったと思う。 ・普段当たり前についている電気や、水の大切さを改めて感じてもらえた。
12 月	**6 日　点灯式＜詳細別途記載＞** **10 日　健康診断** **20 日　避難訓練** 予告なしで、朝の自由遊び中に「地震」の避難訓練を行う。怖くて泣き出してしまう子もいたが、スタッフの話をよく聞き行動することができた。 **25 日　クリスマス会＜詳細別途記載＞** **27 日　餅つき＜詳細別途記載＞** **6 日　点灯式＜詳細別途記載＞** **25 日　クリスマス会＜詳細別途記載＞** **27 日　餅つき＜詳細別途記載＞**
	クリスマスイルミネーション点灯式 目的：季節の行事を楽しむ 保護者との交流をはかる 日時：2019 年 12 月 6 日（金）　16:30～18:20 場所：なないろキッズルーム園庭 内容：クリスマスイルミネーションをカウントダウンで点灯する。 その後お迎えに来た親子で豚汁を食べたり、甘酒を飲みながら団欒してもらう。

所感：・金曜日は書道教室と重なるので駐車場が問題。金曜以外を検討。
・コンセントの差込口が、暗くて見えづらいので、懐中電灯を用意する。
・保育室前の外のカーペットに躓く子がいたので危険。注意するよう呼びかけが必要。近づかないような対策を考える。

クリスマス会

目的：クリスマス会を通して友達との関りを楽しむ
行事に参加する喜びを知る

日時：2019 年 12 月 25 日（水）10:00～11:00
場所：なないろキッズルーム 2 階
内容：歌「あわてんぼうのサンタクロース」
サンタ登場
出し物　幼児　「だるまさんが」「だるまさんと」
児童　いろいろクイズ
スタッフ　ヒゲダンス
ダンス　「パプリカ」
サンタからプレゼント　幼児・・・バランスストーン
児童・・・ホッピング
写真撮影

所感：・サンタを怖がることなく、幼児や低学年も握手をしたり、触ったりして、良い雰囲気であった。サンタを子どもたちが知らない方に頼んだのもよかった。しかし、子ども達が準備でベランダにテーブルを出している時に、園庭にいたサンタ役の方を見てしまった。サンタと気付いたかは不明。
・幼児のだるまさんの衣装はとても良かった。少しずつ準備をし、練習の時も衣装を着たり、遊び慣れた 2 階でも練習を重ねたので、期待を持って取り組むことができた。
・小学生の出し物をクイズにしたのは、幼児・学童一緒に楽しむことができ良かった。
・スタッフの出し物の「ヒゲダンス」は、元々の「ヒゲダンス」を知ってる子は少ないが、とても盛り上がった。
・子ども主体のクリスマス会にしたため、みんなで楽しむ姿が見られた。

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">

餅つき

目的：餅つきを通して、幼児・学童との交流を深め、みんなで楽しく過ごす。

日時：2019 年 12 月 27 日（金）11:00～12:30

内容：鏡餅用の餅を臼と杵でつく。食事用の餅は餅つき機でつき、きな粉餅・磯部餅・あんころ餅にして、豚汁と共に食べる。

所感：・フリーで動けるスタッフが必要。
・学童は食べ始めてすぐに雨が降るハプニングがあったが、食べ過ぎではないかと思われるくらい、良く食べていた。
・幼児は絵本などで導入していたので、どの子も楽しみにしていて、スタッフの話をよく聞き取り組むことができた。子ども用の杵だったので、年齢の高い子は一人で持ってつくことができた。

</td></tr>
<tr><td>1 月</td><td>

6 日　初詣

14 日　健康診断
14 日　避難訓練

</td><td>

6 日　初詣

</td></tr>
<tr><td>2 月</td><td>

3 日　豆まき<詳別途記載>
6 日　健康診断
12 日　避難訓練

</td><td>

3 日　節分<詳細別途記載>

</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">

豆まき

目的：昔ながらの行事を知り楽しむ
恵方巻や豆まきを楽しみ、節分の意味を知る

日時：2020 年 2 月 3 日（月）　幼児 11:00～11:30
学童　16:00～17:00

場所：幼児　なないろキッズルーム園庭
学童　なないろキッズルーム園庭及び 2 階

</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>
内容：（幼児）
園庭に出て、豆まきの話しをし、スタッフが鬼役になり豆まきを行う。暫くしてから鬼が登場。みんなで豆をまき鬼を退治する。

（学童）
節分・恵方巻の話をし、園庭で西南西の方向を向き恵方巻を食べる。
年女の 5 年生がベランダから、豆に見立てた丸めた紙を投げる。その中の「福」と書いた当たりくじを拾った子は景品がもらえる。

所感：・幼児への節分の意味を伝えるのが難しい。
・鬼がお面をかぶると視界が悪いが、ゆっくりとしか動けないのもいいのかもしれない。また、鬼の登場が、今年は 2 階から非常階段を使ってではなく、別棟から登場したので危険がなく良かった。視界が悪く階段は危険。
・学童の豆の量が多かったが、当たりくじを入れてしまったので、全て投げるようになってしまった。相当の量だったが、投げる子も受け取る子も飽きることなく続けていた。当たりくじは別にしておいて、スタッフが投げてもよかった。
・豆に見立てた紙を広げてゴミに出したが、きちんと広げて資源ごみで出すべきだった。
</td>
</tr>
<tr>
<td>3 月</td>
<td>
10 日　健康診断
14 日　新入児説明会（中止）
23 日　避難訓練
</td>
<td>
10 日　園外保育（麻溝公園）

</td>
</tr>
</table>

27 日　旅立ちの会＜詳細別途記載＞
31 日　お楽しみ給食

12 日　避難訓練
14 日　新入児説明会（中止）
24 日　お別れ遠足＜詳細別途記載＞
27 日　旅立ちの会＜詳細別途記載＞
31 日　お楽しみ給食

お別れ遠足

6 年生のお別れ遠足の予定だったが、コロナの影響で外出は中止。
6 年生のみサプライズで特別昼食とする。
初めのうちは出かけられないのが物足りなかったのか、口数少なく黙々と食べていたが、ホールのケーキとデザートが出たら、やっと賑やかになり、食べ終わった後も、「帰りたくな～い」と、女子達はゲームをしたり、昼寝をしたりと寛いでいた。

旅立ちの会

目的：なないろを旅立っていく子ども達に、みんなで感謝しお祝いする。
日時：2020 年 3 月 27 日（金）
幼児　16:00～16:20　学童　16:30～17:00
場所:なないろキッズルーム 2 階
内容：（幼児）
　　感謝状・アルバム贈呈
　　歌「にじ」
　　記念撮影
　（学童）
　　感謝状・アルバム贈呈
　　親への手紙
　　記念撮影

	所感：・今年度はコロナの影響で、幼児・学童別々に在園児なし、スタッフも少数で行う。 ・学童の親への手紙はカットするか悩んだが、親へ感謝の手紙を書き、読み上げる機会は、そうそうないので、カットせずに行ってよかった。

★SNS

「今日のなないろ」http://k2love2.blog53.fc2.com/
「フェイスブック」https://www.facebook.com/nanairo.kids.room/
「インスタグラム」https://www.instagram.com/nanairo_kids/
「今日の給食」　　http://7716lunch.blog.fc2.com/

★その他

ボランティアチャレンジ受け入れ	夏休み中　中高校生のボランティア受け入れ ・夏休み中はスタッフも仕事量が増え、利用児の対応で精一杯になってしまうので、ボランティアの子ども達の対応が難しい。次年度からは受け入れを検討。
小中学生職場体験	今年度は夢の丘小学校３名、田名中学校３名、相模台中学校３名、小山中学校３名、相陽中学校２名の生徒を受け入れた。 **職場体験を通して** ・生徒たちに伝える事や質問に答える事により、スタッフも再確認することが沢山あり、スタッフも勉強になる。 ・どこの学校の生徒も、短い期間にもかかわらず、子ども達に慣れようと頑張ってくれていた。 ・事前訪問等のオリエンテーションは、マニュアル通りの受け答えではなく、自分の言葉でできたらいいのだろうが、学校の職場体験の方針としては難しいことなのだろうか。
食育	豆苗収穫 ブロッコリースプラウト収穫

	きゅうり収穫 カイワレ大根収穫 はつか大根種まき はつか大根収穫 今年度幼児は食育に力を入れた。 種まき・収穫し、給食で食した。 きゅうりは成長過程がわかりやすく、子どもも興味を持っていた。 次年度は収穫した野菜を、子ども達と調理して食したい。

★保護者へのアンケート結果

今年度は保護者に「なないろ」の良いところ、悪いところのアンケートを取ってみた。スタッフが思いもよらない良い点や、保護者の求めていることも分かり、これからの運営の道筋が見えてきた

＜良いところ＞

・子どもにとって落ち着く場所であり、寛ぎ方が家と同じで安心。
・ベテラン有資格スタッフが多く安心。また、子育て経験のあるスタッフも多く、子育ての相談にのってくれたり、アドバイスをもらったりできる。
・食・行事など、季節を感じられる取り組みをしているところが良い。
・スタッフが全力で子どもと遊んでくれる。また、いつも子どもの事を考え、なないろで楽しく過ごせるようにしてくれているので、預けていても安心。
・長期休みに給食が選べるのは助かる。
・休校や登校時間の変更などに、柔軟に対応してくれる。
・年齢の違う子ども達が、兄弟のように関わることができるところが良い。

＜改善して欲しいところ＞

・写真の販売をして欲しい
・夏休みのＤＶＤを見てる時間を減らして欲しい
・親が参加できる行事を増やして欲しい
・習い事の送迎をして欲しい

2019 年度の振り返り　2020 年度の目標

＜2019 年度を終えて＞

・国籍・宗教・アレルギー児など受け入れ児が多様化している。今まで以上に臨機応変な対応と、スタッフの連携が必要になってきた。
・年案・月案・週案をもっと意識して、保育を行えるとよかった。
・学童に、大きな怪我があり、子どもだけの責任ではなかったので、見守るだけではなく、状況によっては、すぐに介入することも必要だった。また、二度と起こらないよう、常日頃からスタッフ間でよく話し合うことが必要ではないか。
・保育スタッフと調理スタッフとの連携が不十分だったと感じる。
・スタッフは状況に応じて臨機応変に動けていた。また、さらに良くするためにはどうしたらよいのか改善策の話しもできていたと感じる。

＜次年度の目標＞

・調理を含めた補助スタッフの確保が早急に必要。
・毎月の避難訓練が、その場限りのものにならないよう、スタッフ会議でも取り上げ、スタッフ全員がしっかりと身につけていく。
・衛生面　特にインフルエンザ・ノロ・コロナ等が流行している時の消毒・換気等の徹底。
・保育スタッフと調理スタッフの連携・情報の共有を密にしていく。
・整理整頓に一人一人が気を配る。
・小学校との連携が不十分だと感じるので、小学校への働きかけを考える。
・スタッフ全員が利用方法の把握・スタッフマニュアルの再確認を徹底。
・スタッフ一人一人が、毎日目標を持って業務に取り組み、なないろスタッフとしての自覚をもって、常日頃から行動していくよう心がける。

年度末　コロナの影響で休校になり、給食の食材調達もままならなかったとき、ローソンのおにぎり無償提供や、フードバンクからのおやつ提供、利用者からの米の寄付。そして、マスクや除菌剤の寄付。
皆さんも大変な思いをされているなかでのご寄付。思いやりや助け合いの心に感謝でした。